

2021年3月12日

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団

令和3年度 事業計画書

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団

理事長 小笠原 清晃

当財団の目的達成のため、定款第4条に定める事業を下記のとおり実施する。

記

I. 科学・技術分野

1. 一般研究助成

1) 対象

高分子分野における、新素材、加工技術、新機能に関する研究課題

- ① 機能性高分子新素材の開発に関する研究
- ② 高分子の成形、切削、接着等の加工に関する研究
- ③ 分子成形の金型に関する新技術の研究
- ④ プラスチックを利用した新機能部品の開発
- ⑤ 高分子の廃棄及びリサイクルに関する研究

2) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

3) 募集期間

4月28日～6月30日

4) 選考方法

選考は選考委員による選考委員会にて行う。

5) 決定時期

10月中旬、理事会で決定。

6) 予算額 10,000万円

2. インキュベンチャー助成

2015年度より新しい事業として、日本の成長戦略につながるような独創性に富んだ公益性の高い新製品・新技術のプロジェクトを推進するための助成。

1) 対象

- (1) 社会経済の健全な発展と国民生活の向上に資すると認められる公益性の高い優れた新製品・新技術(但しコンピュータプログラム自体、バイオテクノロジー、医薬を除く)
- (2) 原則として、3年以内に事業化可能なもの

2) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

3) 募集期間

4月28日～6月30日

4) 選考方法

選考は選考委員による選考委員会にて行う。

(第1次選考:10月1日、第2次選考(プレゼン選考):11月25日)

5) 決定時期

12月初旬、理事会で決定。

6) 予算額 10,000万円

3. 特定課題研究助成

1) 対象等

広く自然科学、社会科学の分野における主に学術的・社会的意義の大きい調査研究、学術交流等を対象。財団内で設定するあるいは学識経験者等の推薦による特定課題に対して行うことを目的とした助成。

2) 募集、選考方法

非公募。随時案件受入、選考委員による選考。

3) 決定

理事会で決定

4) 予算額 4,500万円

II. 文化・芸術分野

1. 第二次新型コロナウイルス特別助成(現代美術分野)

1) 目的

新型コロナウイルス感染拡大で、現代美術分野における活動やプロジェクトに影響を受け、かつ、将来にわたって活動を継続するために支援を必要する方を対象に、継続の一助となる資金を助成することで、今後も希望を持って創造・表現活動に取り組める環境整備に貢献することを目指します。

2) 対象

現代美術分野における活動

新型コロナウイルスの感染拡大で活動に何らかの影響を受けた個人、または小規模団体。団体の法人格は問いません。

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

4月15日～5月12日

5) 選考方法

選考は選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定時期

6月中旬、理事会で決定。

7) 予算額 5,000万円

2. 文化・芸術の担い手への助成(調査・研究等への助成)

1) 助成の目的

美術の分野における「調査・研究」、「教育・普及」、「保存・修復・維持」等美術の担い手に対して助成し、もって日本の文化・芸術の振興を図ることを目的とする。

2) 対象

- (1) 美術史とりわけ現代美術に関する調査研究
- (2) 美術の教育・普及活動
- (3) 美術品の保存・修復・維持に関する活動

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

9月8日～10月20日

5) 選考方法

選考は選考委員による選考委員会にて行う。理事会が決定する

6) 決定時期

11月下旬、理事会で決定。

7) 予算額 3,000万円

3. 日本の文化・芸術普及のための翻訳助成

1) 助成の目的

文化・芸術に関する書籍、美術館その他の施設の資料、アーティストファイル等を広く海外に紹介させるための良質な外国語翻訳を応援し、もって日本文化・芸術の振興を図ることを目的とする。

2) 対象

- (1) 日本の美術館等の資料に関する外国語による翻訳・編集・展示に関する費用
- (2) アーティストファイルの翻訳に関する費用
- (3) 作品に付随する字幕・解説の翻訳に関する費用

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

9月8日～10月20日

5) 選考方法

選考は選考委員による選考委員会にて行う。理事会が決定する

6) 決定時期

11月下旬、理事会で決定。

7) 予算額 2,000万円

3. 特定課題研究助成

1) 対象等

文化・芸術の分野を対象とし、財団内で設定するあるいは学識経験者等の推薦による特定課題に対して行う助成。

2) 募集、選考方法

非公募。随時案件受入、選考委員による選考。

3) 決定

理事会で決定

4) 予算額 1,000万円

Ⅲ. 目的達成のための関連業務(事業推進業務)

助成申請の内容を選考委員が選考するための業務 予算額 1,220万円

【事業費まとめ】

(単位:万円)

科学 技術	一般研究助成	10,000
	インキュベンチャー助成	10,000
	特定課題研究助成	4,500
	小計	24,500
文化・ 芸術	第二次新型コロナウイルス特別助成(現代美術分野)	5,000
	学芸員等担い手への助成(調査・研究等への助成)	3,000
	日本の文化・芸術普及のための翻訳助成	2,000
	特定課題研究助成	1,000
	小計	11,000
事業推進費		1,220
合計		36,720

参考

【事業費まとめ】(2020年度予算)

(単位:万円)

科学 ・ 技術	一般研究助成	11,000
	インキュベンチャー助成	8,000
	特定課題研究助成	4,500
	国際交流活動助成(研究発表のための出張助成)	450
	国際交流活動助成(研究集会の開催助成)	250
	小計	24,200
文化・ 芸術	学芸員等担い手への助成(調査・研究等への助成)	1,400
	学芸員等文化・芸術の担い手への助成(交流助成)	1,000
	学芸員等文化・芸術の担い手への助成(渡航・旅費助成)	1,400
	日本の文化・芸術普及のための翻訳助成	1,200
	小計	5,000
事業推進費		1,080
合計		30,280

以上